

「南海トラフ・徳島セミナー」開催報告

近畿不動産鑑定士協会連合会・危機管理対応委員会(内田宏委員長)が主催者となり、令和元年7月19日～20日、徳島県において「南海トラフ・徳島セミナー」が開催されましたので、その概要を報告申し上げます。

今後起こりうる南海トラフ巨大地震を見据えた防災ネットワーク(東京・中部・近畿・四国等)の連携強化が我々の業界にとっても急務となっているなか、発災直後の緊急期、その後の復旧・復興段階において、不動産鑑定士ができる被災地・被災者支援のための具体的な活動について情報交換や意見交換等を行うとともに、徳島県下の被災想定地域の視察を実施いたしました。

本セミナーでは、近畿不動産鑑定士協会連合会会員12名(滋賀県2名、京都府1名、大阪府3名、兵庫県4名、奈良県1名、和歌山県1名)、徳島県不動産鑑定士協会会員18名、その他の不動産鑑定士協会会員18名(東京都4名、愛知県1名、静岡県4名、三重県2名、岡山県3名、高知県3名、沖縄県1名)の計48名の参加となりました。

19日のセミナー第1部では、各地域からの取り組み報告、住家被害認定調査等に関する支援活動、自然災害による被災者の債務整理に関するガイドラインにおける価格等調査の評価先例報告等情報共有を図り、第2部では、愛媛大学工学部の森伸一郎准教授をお招きし、地震工学の観点から、南海トラフ巨大地震のリスクと平成30年7月豪雨の災害を踏まえた課題についてレクチャーをいただき、意見交換が行われました。

また、20日には、海陽町役場等のご協力により、被災想定地域となる徳島県南沿岸地域(海陽町、阿南市等)の視察を行い、見聞を深めました。

今後も本会では、地域不動産鑑定士協会連合会及び都道府県不動産鑑定士協会と連携を深め、被災地・被災者支援のために取り組みを深度化してまいりたいと考えております。



内田宏近畿不動産鑑定士協会連合会・
危機管理対応委員長挨拶



吉村真行本会会長挨拶



森脇英正徳島県不動産鑑定士協会会長挨拶



セミナー風景



被災想定地域視察（海陽町、避難場所へ）



被災想定地域視察（海陽町、
まぜのおかオートキャンプ場（避難所））



被災想定地域視察
（海陽町、五軒家憲次元町長との意見交換会）